

このたびは、YKKAP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。



ラフォレスタ 引分け戸にマグネットガイド仕様を追加しました。

注意

- 本商品は、**枠取付精度が基準からはずれた場合、正常に機能しないことがあります。**説明書記載の「**枠取付精度**」を必ず守って施工してください。
- レールや吊車に異物が付着すると、引き込み速度の低下や、閉じきらないなどの不具合が発生するおそれがあります。
引戸を吊込む前に、必ず「**レール内、吊車**」を清掃の上、**異物の付着がない状態**にしてください。
- フックス掛けの際は、マグネットガイドピンにフックスが付着しないようにご注意ください。付着した場合は拭き取ってください。
詳しくは、本説明書のマグネットガイドピンのお手入れ方法をご確認ください。

お願い

- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 本商品は、一般住宅用です。他の用途へのご使用はおやめください。
- 組立・施工は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は事故の原因になります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれの無いことをご確認ください。
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 造作材、建具枠の下地材には必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材、建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
やむを得ず直付けする場合は、造作材、建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 室内の壁面等を漆喰などの湿式工法で仕上げる際も、同様に防水処理が必要です。
- 施工は、2人以上で行ってください。
- 施工完了後、説明書の方法通り、調整が行われていることを確認してください。
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 施工完了後は、清掃を行い、ゴミ、異物、汚れがないことを確認してください。
- 取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

お願い

指定箇所の接着は確実に行ってください。
※接着剤として**木工用ボンド**をご用意ください。

接着剤表示マーク

同梱一覧

■枠ユニット

| 姿図 | | | | | | | | | |
|----|------------|------------|-----------|------|-----------|-------------|-------------|------------------------|------------------------|
| 品名 | レールカバー | レールアタッチメント | 上枠アタッチメント | 上レール | 上枠ストッパー裏板 | 上枠ストッパー固定金具 | 丸小ねじ(φ4×10) | 上枠小口キャップR | 上枠小口キャップL |
| 品番 | - | - | - | - | 5K-18299 | 4K-16882 | MR-4010 | 2K-37155 2K-34432※1 | 2K-37156 2K-34433※1 |
| 個数 | 片引き戸 | | | | 2 | 2 | 4 | 1 | 1 |
| | 片引き戸(入隅仕様) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1(左勝手の場合) | 1(右勝手の場合) |
| | 引分け戸 | | | | 2 | 2 | 4 | 1 | 1 |
| 備考 | | | | | | | | ※1: DA色の場合 | |

| 姿図 | | | | | | | | | |
|----|------------|-------------------|----------|------------|------------|---------------|----------|---------------|---------------|
| 品名 | 上枠ストッパー | 小トラスタッピンねじ(φ4×30) | 床ストッパー | 床ストッパー固定金具 | 床ストッパーキャップ | 丸木ねじ(φ3.8×25) | モヘア | 丸木ねじ(φ3.8×50) | 丸木ねじ(φ3.8×50) |
| 品番 | 2K-34465 | EM-4030 | 2K-34466 | 4K-16883 | 2K-34467 | WR-3825 | 2K-20084 | WR-3850 | WR-3850 |
| 個数 | 片引き戸 | 2 | 2 | 2 | 2 | 6 | 2 | 4~7 | 4~7 |
| | 片引き戸(入隅仕様) | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 4~6 | 4~6 |
| | 引分け戸 | 2 | 2 | 2 | 2 | 6 | 2 | 4~7 | 4~7 |
| 備考 | | | | | | | L=2500mm | 上枠取付用 | 上枠アタッチメント取付用 |

■引戸 部品箱

| 姿図 | | | | | | |
|----|----------|-----------|--|-----------|----------|----------|
| 品名 | 吊車 | 引戸上小口キャップ | ダブルクローズ機構本体 | 上レールストッパー | 床付ガイドピン | マグネットガイド |
| 品番 | 2K-38205 | 2K-38206 | 5K-18058 | 2K-38301 | 5K-18057 | 2K-39205 |
| 個数 | 片引き戸 | 2 | 1 | - | 1 | - |
| | 引分け戸 | 4 | 4 | 2 | 2 ※2 | 6 |
| 備考 | | | ダブルクローズ仕様 ダブルクローズ仕様 ダブルクローズ仕様 ダブルクローズ仕様 取付ねじ同梱 | | | |

■入隅用たて枠

| 姿図 | | | | |
|----|----------|-----------------|----------|---------|
| 品名 | 入隅たて枠 | スプーンねじ(φ3.8×65) | 戸当りキャップ | 穴塞ぎシール |
| 品番 | - | 2K-18782 | 2K-33289 | K-45740 |
| 個数 | 1 | 10 | 5 | 1 |
| 備考 | L=2400mm | | | |

■引戸 部品箱

| 姿図 | | | | | |
|----|----------|--|-----------|----------|-------------------|
| 品名 | 吊車 | ダブルクローズ機構本体 | 上レールストッパー | 床付ガイドピン | 薄バインド木ねじ(φ3.8×20) |
| 品番 | 2K-38205 | 5K-18058 | 2K-38301 | 2K-38299 | WS-3820 |
| 個数 | 片引き戸 | 1 | - | 1 | 2 |
| | 引分け戸① | 2 | - | 1 | 2 |
| | 引分け戸② | 2 | 1 | - | 1 |
| 備考 | | ダブルクローズ仕様 ダブルクローズ仕様 ダブルクローズ仕様 ダブルクローズ仕様 床付ガイドピン取付用 | | | |

部品箱は、本体ユニットに同梱されています。

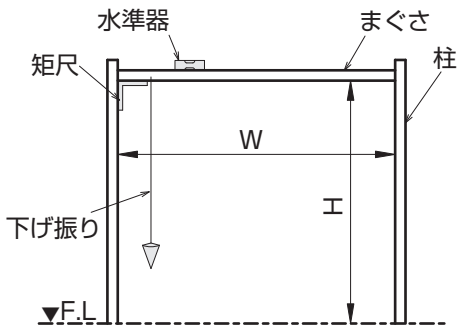
■オプション

| 姿図 | | | | |
|----|-----|-------|----|--------|
| 品名 | 見切材 | ケーシング | 錠受 | 化粧カバー材 |
| 個数 | 2 | 2 | 1 | 3 |

■オプション

| 姿図 | | | | | | | | |
|----|------------|--------|----------|----------|---------------|------------------------|----------|-------------------|
| 品名 | 見切材 | 化粧カバー材 | ガイドレール仕様 | | | | | |
| | | | 敷居 | 敷居カバー | 皿木ねじ(φ3.1×20) | 直付敷居端部キャップ | ガイドローラー | 小トラスタッピンねじ(φ4×12) |
| | - | - | 2K-71545 | 2K-71550 | WF-3120 | 2K-38302 2K-38334※3 | 5K-18298 | EM-4012 |
| 個数 | 片引き戸 | | | | 8~16 | 2 | 2 | 4 |
| | 片引き戸(入隅仕様) | 2 | 3 | 1 | 2 | 8~16 | 2 | 4 |
| | 引分け戸 | | | | | 14~28 | 2 | 8 |
| 備考 | | | 1本レール | 端部用 | 敷居取付用 | ※3: DA色の場合 | | ガイドローラー取付用 |

開口部の確認



開口寸法は、3箇所以上で測定し、最大寸法を確認

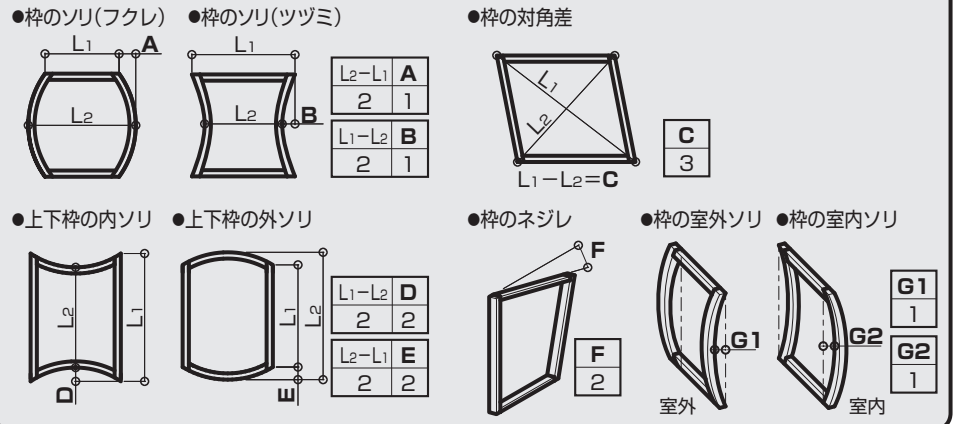
仕上げ材の種類により本商品が取付かない場合があります。

【取付不可】

土壁、カーペット、CFシートなど、ねじ固定が困難な壁や床。部材・部品の取付強度が確保できないため。

建具取付精度

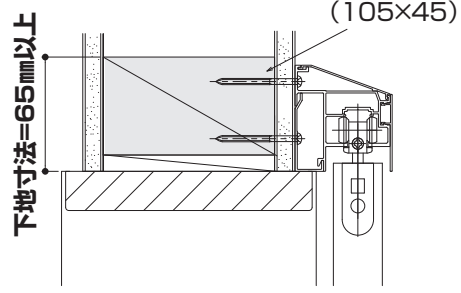
建具枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。下記寸法を超えると外観上のチリ寸法不一致、明かり漏れ、開閉・走行の不具合など商品本来の性能が発揮されません。 単位：mm



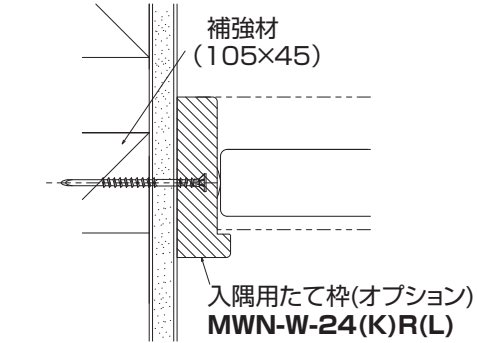
躯体の確認

■補強の確認

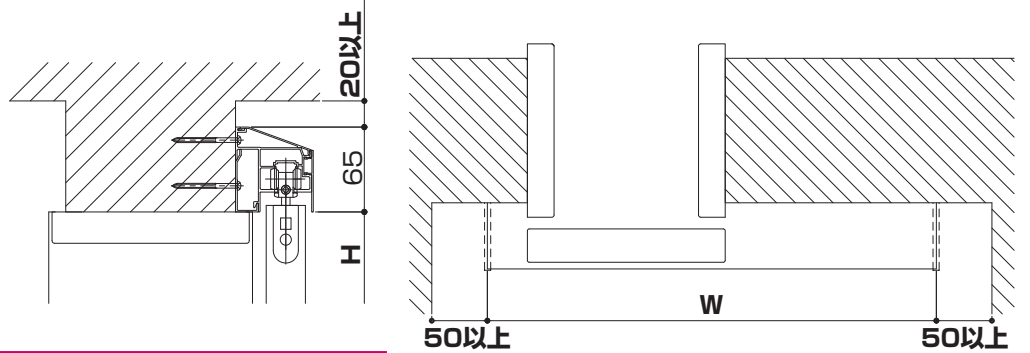
(施工例)



<入隅用たて枠を使用した場合>



■上枠取付位置の確認(下記寸法確保)

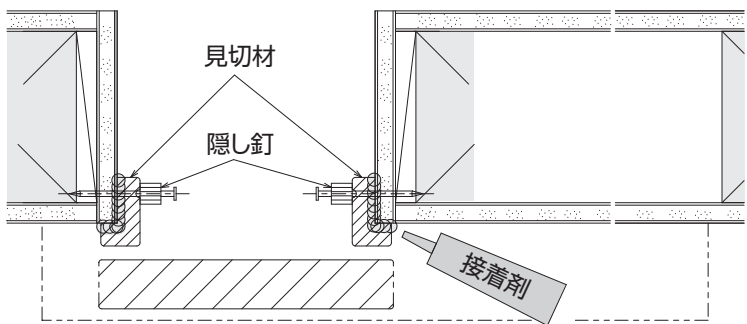


注意

必ず構造計算を行い、取付躯体に十分な補強材を入れてください。上吊りタイプのため、障子の重量でまぐさが垂れ下がらないようにしてください。(推奨105×45以上)

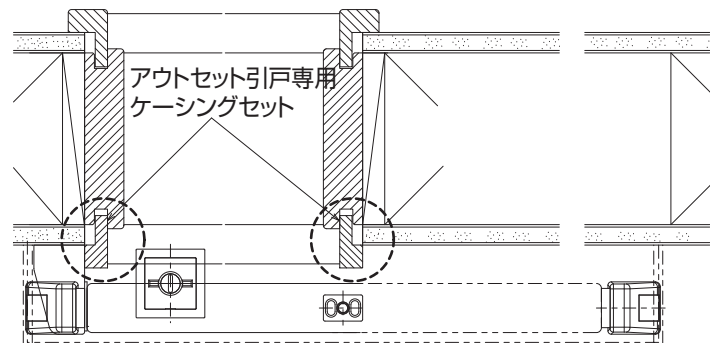
見切材の取付(オプション)

開口部がクロス納めの場合、見切材の裏面に接着剤を塗布し、隠し釘(現地調達)等で壁内の下地にしっかりと取付けてください。

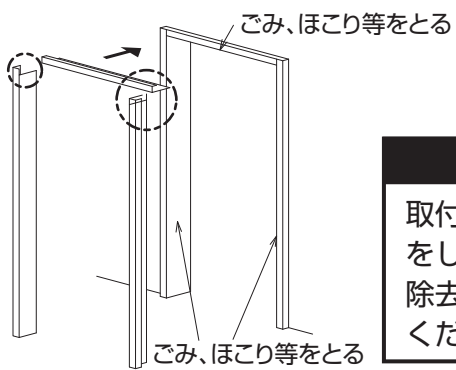


ケーシングの取付(オプション)

オプションのケーシング(開放枠セット)と錠受(錠セット)を合わせて使用する場合は、オプションの「アウトセット引戸側用ケーシングセット」を使用してください。他のケーシングを使用すると、錠のサムターンとケーシングが重なり、操作ができなくなります。



化粧カバー材の取付(オプション)



お願い

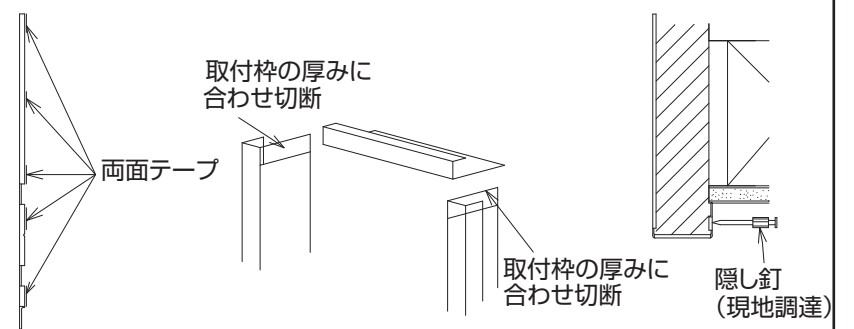
取付下地材を紙やすりがけをし、ごみやほこり等を除去してから取付けてください。

ポイント

接着剤(ゴム系)を併用することでさらに強固な固定となります。

<化粧カバー取付方法>

枠の形状にあわせて化粧カバーを切断し、両面テープで貼付けてください。

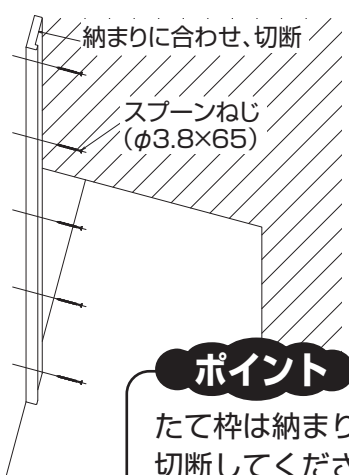


1.入隅用たて枠の取付(オプション)

入隅用たて枠を使用する場合は、上枠アタッチメント、上レールを取付ける前にたて枠を取付けてください。

①たて枠の取付

たて枠を開口が開いている入隅コーナーにあわせて取付けてください。

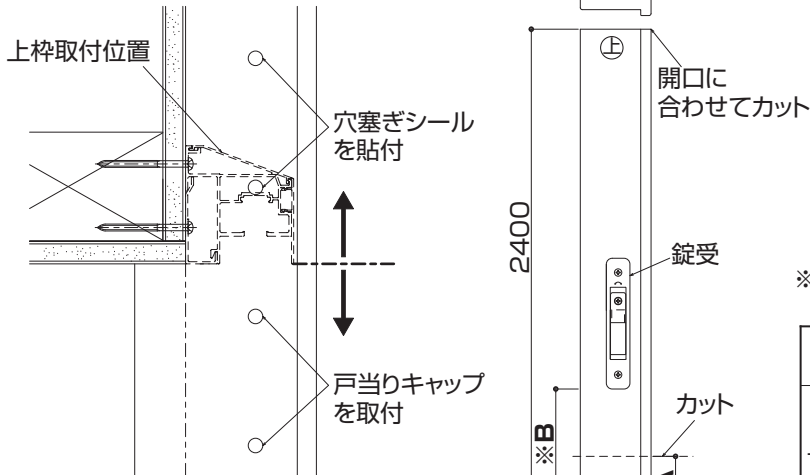


ポイント

たて枠は納まりにあわせて切断してください。

②戸当りキャップ、穴塞ぎシールの取付

たて枠の上レールより下のねじ穴には戸当りキャップを取付け、上レールより上のねじ穴は穴塞ぎシールを貼ってください。



注意

スクリーンパーティション錠仕様において障子のDH寸法が1550mmより小さい場合、錠位置が低くなります。錠の位置に合わせてたて枠の下部を切断してください。

※B寸法

上吊り仕様...1052mm

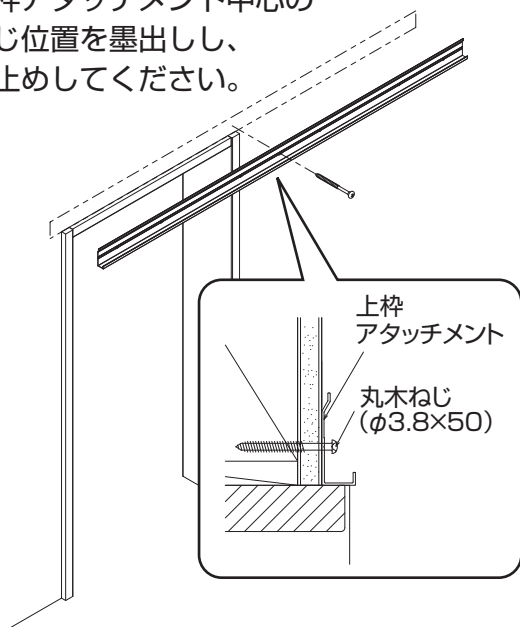
単位：mm

| 上吊り仕様 | 製品H寸法 | A寸法 (カット寸法) |
|-------------|------------|----------------|
| | 804≤H<1054 | 615 |
| 1054≤H<1304 | 490 | |
| 1304≤H<1554 | 365 | |
| 1554以上 | 0 | |

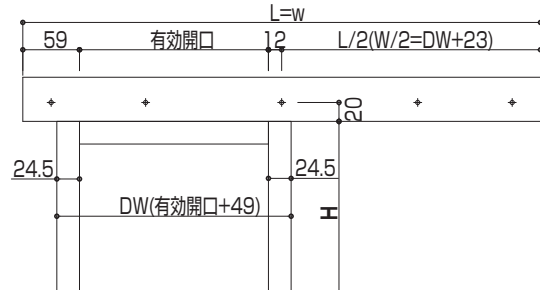
2. 上枠アタッチメントの取付

① 中心仮止め

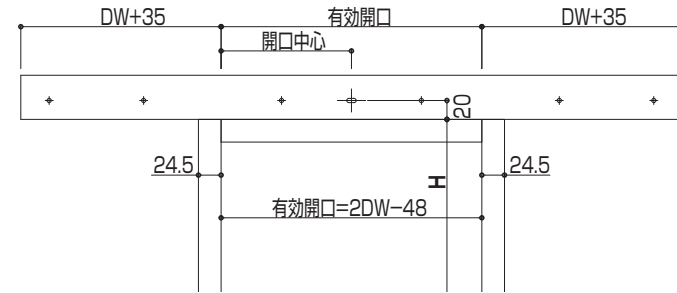
上枠アタッチメント中心のねじ位置を墨出しし、仮止めしてください。



〈片引き戸〉

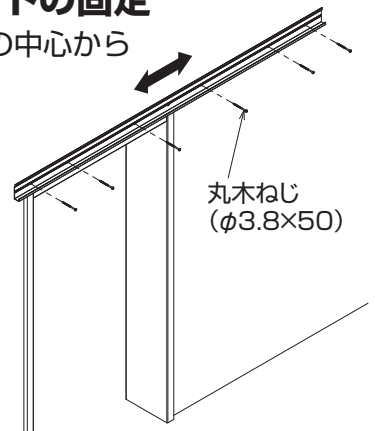


〈引分け戸〉(スクリーンパーティションのみ)



② 上枠アタッチメントの固定

上枠アタッチメントの中心から左右に向かって残りを固定してください。

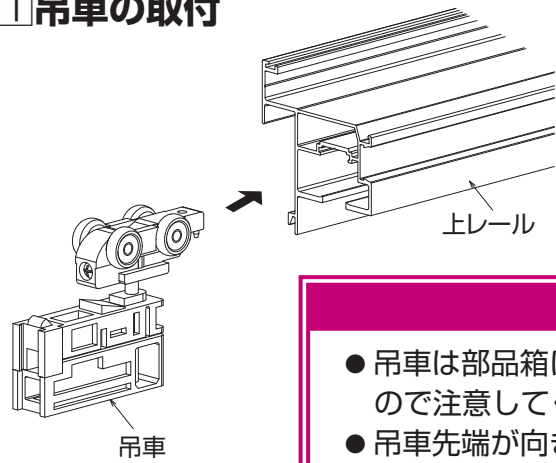


ポイント

取付後、上枠アタッチメントを清掃し、木粉・ほこり等を除去してください。

3. 上レールへの部品付

① 吊車の取付

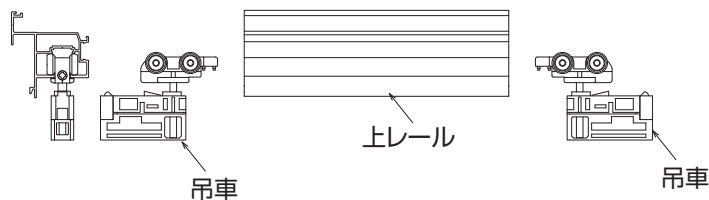


スクリーンパーティション

部品箱は、本体ユニットと同梱されています。

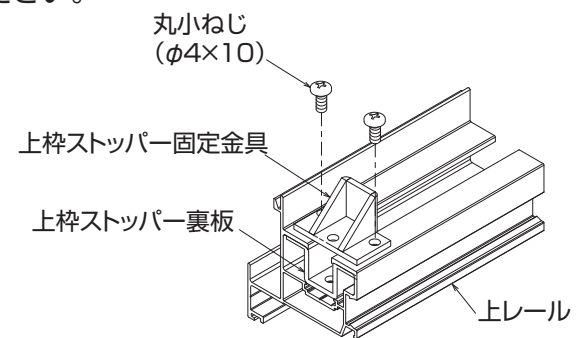
注意

- 吊車は部品箱に入っています。後付けは出来ませんので注意してください。
- 吊車先端が向き合うように挿入してください。逆向きの場合、引戸本体の吊込みができません。



② 上枠ストッパー固定金具・上枠ストッパー裏板の取付

上レールを逆さにし、上レールをはさみこむように固定してください。

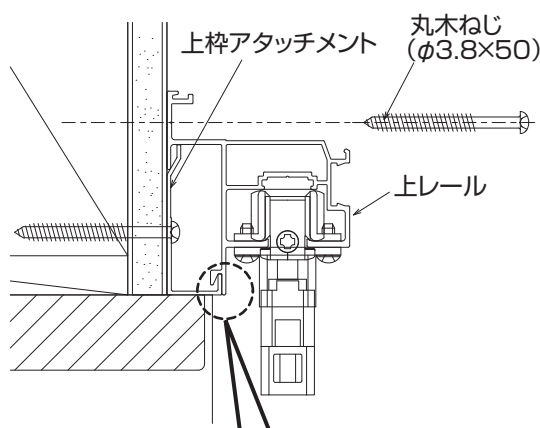


注意

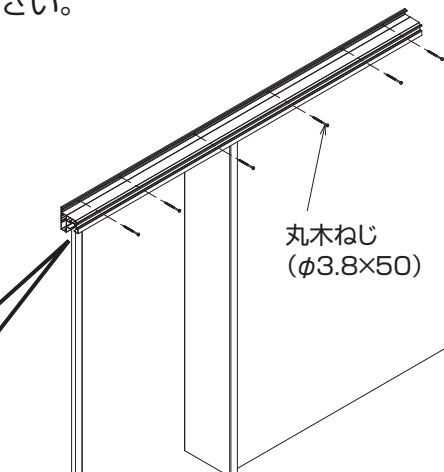
上枠ストッパー固定金具の向きに注意してください。逆向きの場合、引戸本体の吊込みができません。

4. 上レールの取付

上レールを上枠アタッチメントに引っ掛け、ねじで固定してください。



お願い
端部をそろえてください。

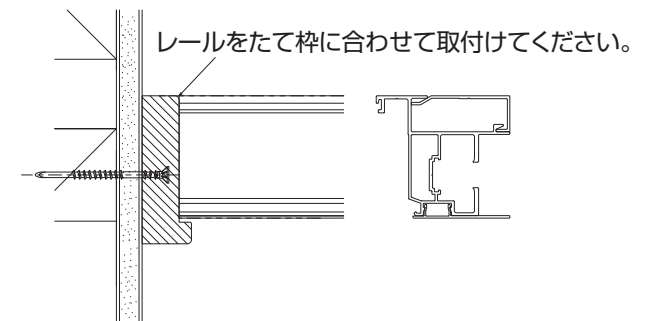


ポイント

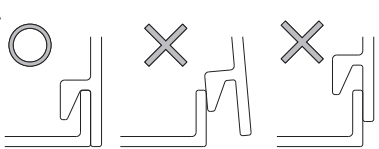
取付後、上枠アタッチメントを清掃し、木粉・ほこり等を除去してください。

＜入隅用たて枠を使用した場合＞

上レールはたて枠のしゃくり部にぶつからない位置で上枠アタッチメントに引っ掛けて、たて枠に端部が当たるようにして、たて枠側から順番に固定してください。

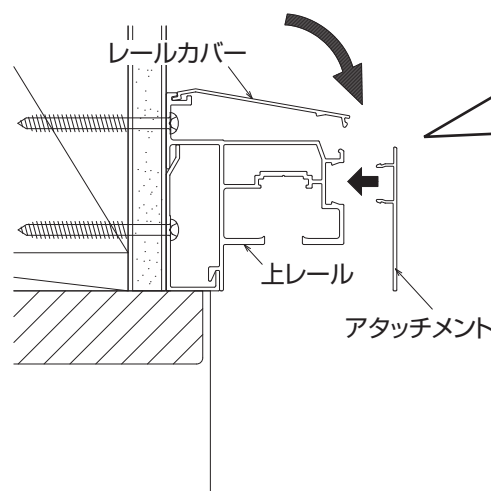


お願い
引っ掛かったことを確認してください。

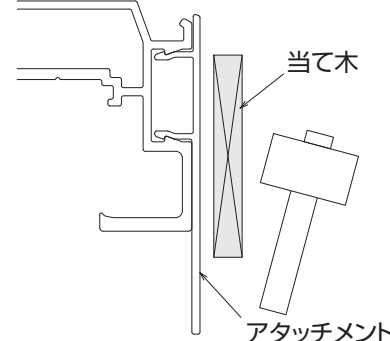


5. レールカバー・アタッチメントの取付

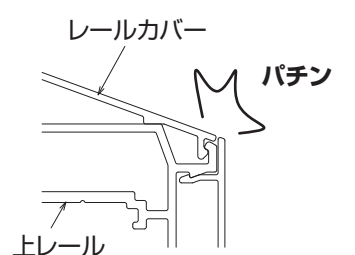
- ① アタッチメントをはめ込んでください。
- ② レールカバーを上レールの上にのせ、しっかりと押えてください。

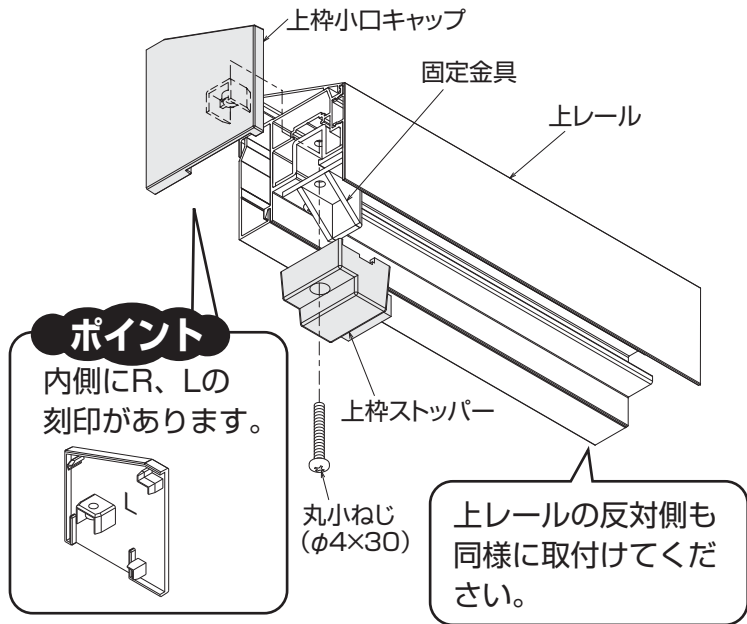


- アタッチメントが全長にわたり、はまっていることを確認してください。



- レールカバーが上レールにはまっていることを確認してください。





<上枠端部部品取付位置>

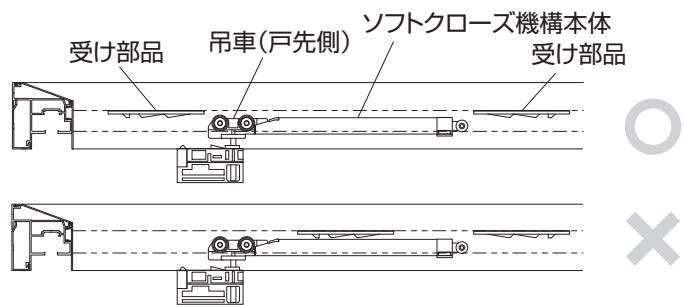
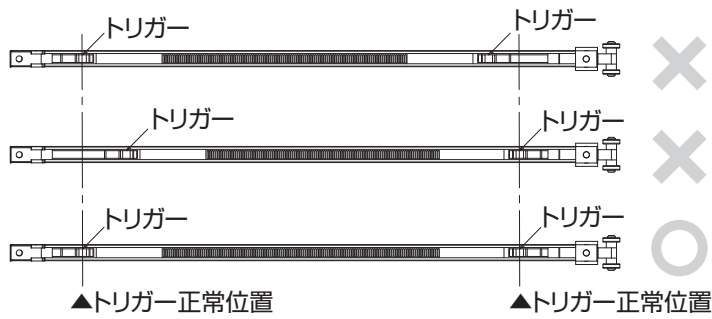
| | 片引き戸・左勝手 | 片引き戸・右勝手 | 引分け戸 |
|-------|----------|----------|------|
| 通常納まり | | | |
| 入隅納まり | | | |

7. ダブルクローズ機構本体の取付

注意

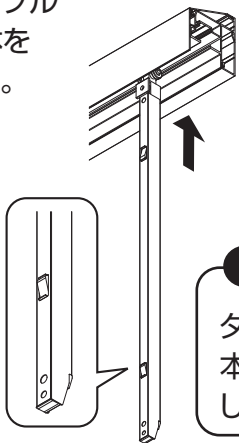
●ダブルクローズ機構本体のトリガーが両端にあることを確認してください。万が一×の状態だった場合は、○の位置までトリガーを指で押し込んでバネを引き伸ばしてください。

●ダブルクローズ受け部品を越えた位置でダブルクローズ機構本体を取付けないでください。必ず2つのダブルクローズ受け部品の間で取付けを行ってください。



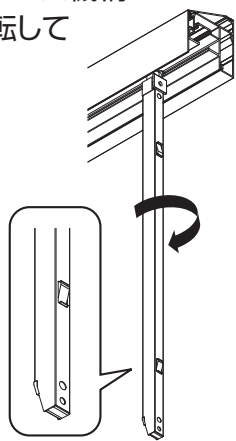
ダブルクローズ機構本体は戸先側の吊車に連結します。

①上レールの溝にダブルクローズ機構本体を差込んでください。

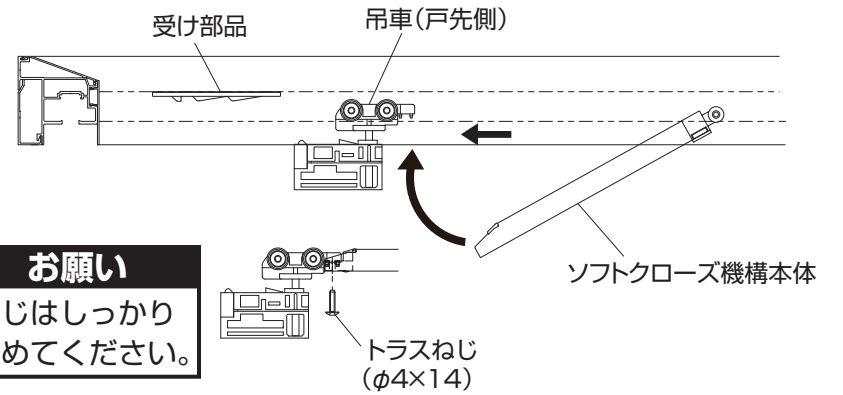


ポイント
ダブルクローズ機構本体の向きを確認してください。

②ダブルクローズ機構本体を回転してください。



③ダブルクローズ機構本体を起し、戸先側の吊車にダブルクローズ機構本体をねじで連結してください。



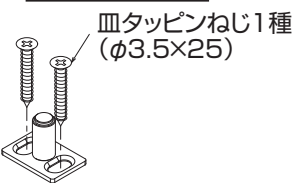
お願い
ねじはしっかり締めてください。

8. 床付ガイドピン・モヘアの取付 床付ガイド仕様の場合

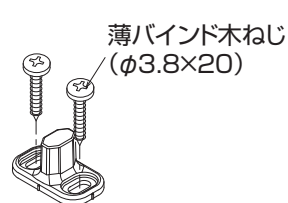
①床付ガイドピンの取付

<ダブルクローズ機構本体・床付ガイドピン取付位置>

ラフォレスタ



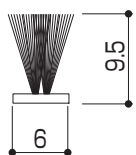
スクリーンパーティション



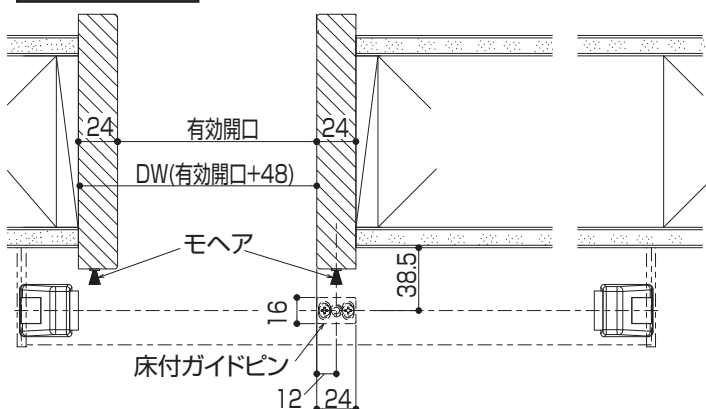
| | 片引き戸・左勝手 | 片引き戸・右勝手 | 引分け戸(スクリーンパーティションのみ) |
|-------|----------|----------|----------------------|
| 通常納まり | | | |
| 入隅納まり | | | |

②モヘアの取付

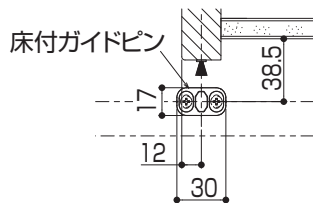
明かり漏れやすきま風軽減のため、必要に応じてモヘアを取付けてください。モヘア裏面のハクリ紙をはがし、現地の納まり(壁厚や開放枠の違い)に応じて必要な箇所に貼付けてください。



ラフォレスタ



スクリーンパーティション



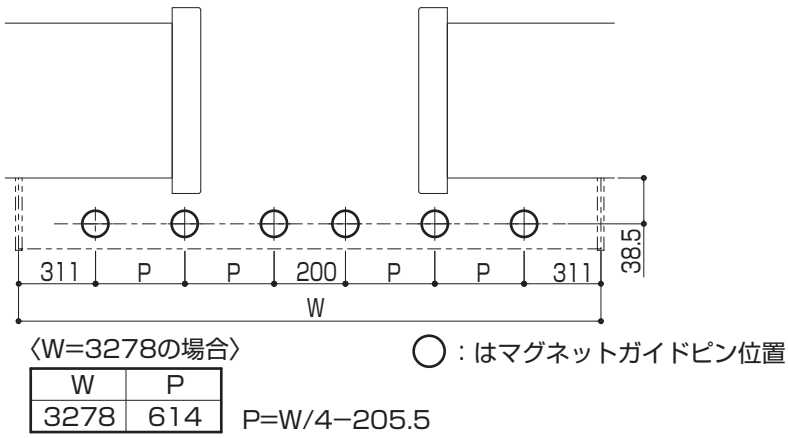
ポイント

マグネットガイドレール仕様の場合はP.5を参照してください。

ラフォレスタ(引分け戸)

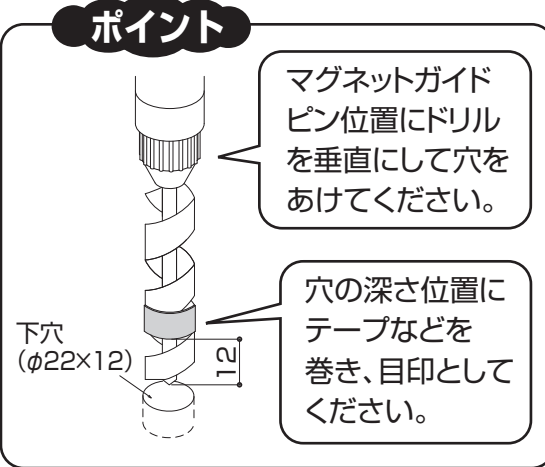
1 マグネットガイドピン位置の算出

マグネットガイドピン位置を算出し、ケガいてください。

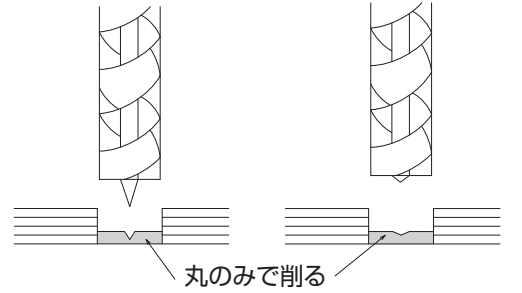


2 穴加工

床面にφ22、深さ12mmの加工穴をあけてください。



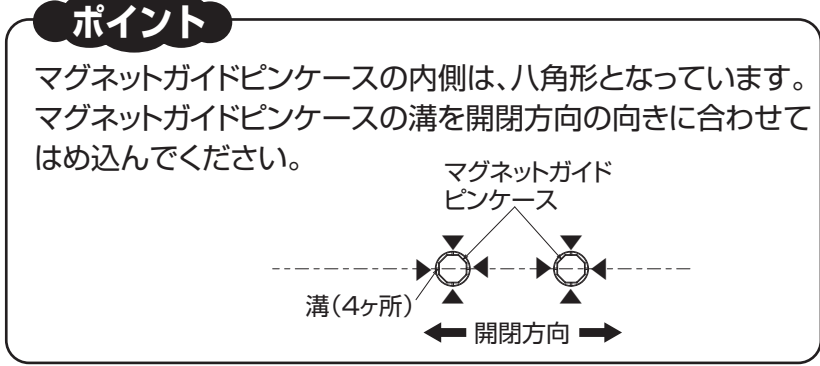
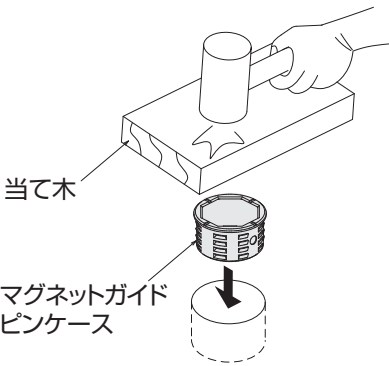
●フローリングが直貼りの場合は、途中まで掘り進め、残りは丸のみなどで削ってください。



注意
床暖房の場合、深さ12mm以上掘込むと設備を破損するおそれがあります。

3 マグネットガイドピンケースのはめ込み

加工穴の中のゴミを除去し、マグネットガイドピンケースをはめ込んでください。

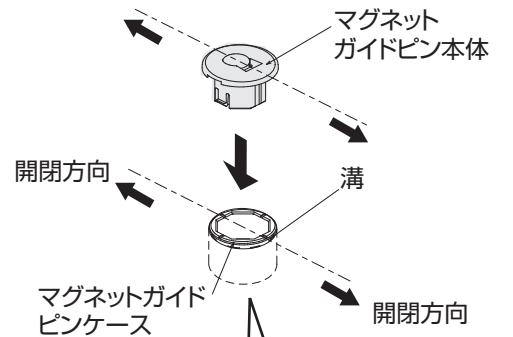


注意

- マグネットガイドピンケースを一度加工穴にはめ込むと取りはずすことができません。
- マグネットガイドピンケースを取付けの際は、直接ハンマーでたたかないでください。マグネットガイドピンケースが変形します。

4 マグネットガイドピンの取付

マグネットガイドピン本体をマグネットガイドピンケースの八角形に合わせて取付けてください。

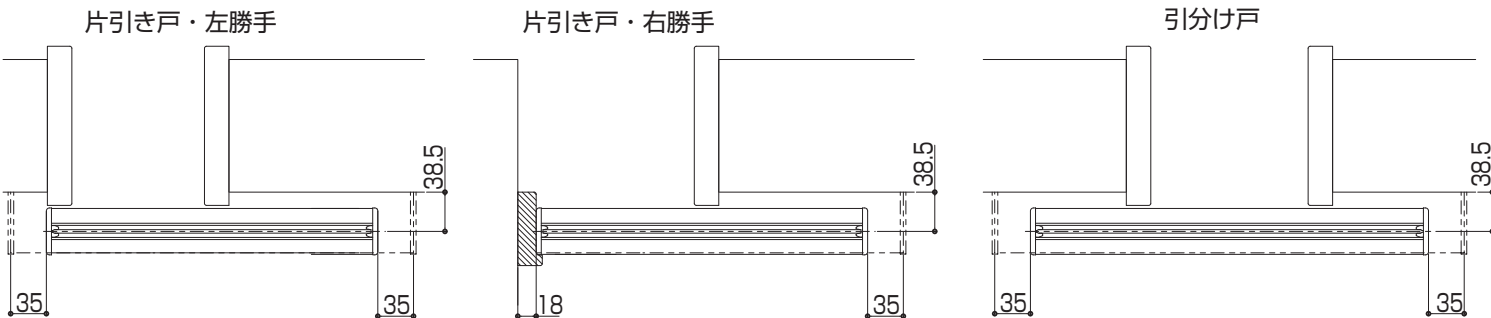


マグネットガイドピンの向きを開閉方向に合わせて差込んでください。

10. ガイドレールの取付 **ガイドレール仕様の場合(オプション)**

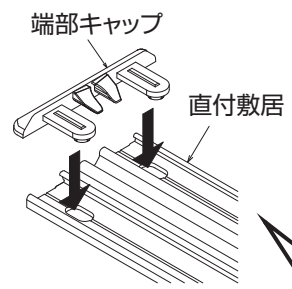
スクリーンパーティション

1 仮置き



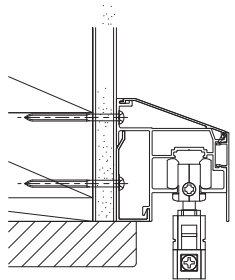
2 端部キャップの取付

直付敷居の両端の長穴に端部キャップの突起部を差し込み、取付けてください。

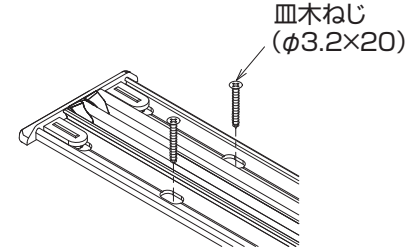


3 直付敷居の固定

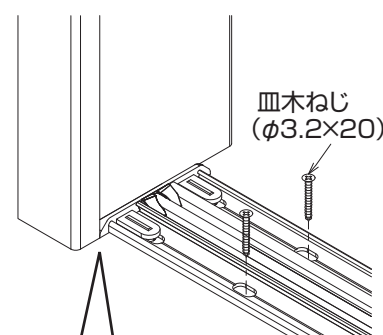
下げ振り等を用いて上レールと直付敷居の軸を合わせ、ねじで固定してください。



通常納まり



入隅納まり



お願い
両端に端部キャップが取付けられることを確認してください。直付敷居取付後に端部キャップは取付けできません。

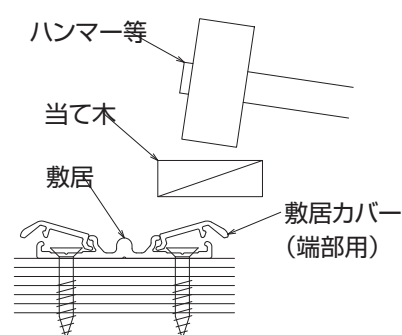
お願い

- 直付敷居は、レールの中心から両端の順でねじを打ってください。
- ねじは穴加工の中心にまっすぐ打ち、締付けすぎないように注意してください。
- 直付敷居施工時は、床を清掃し、木粉・ホコリ等を除去してください。

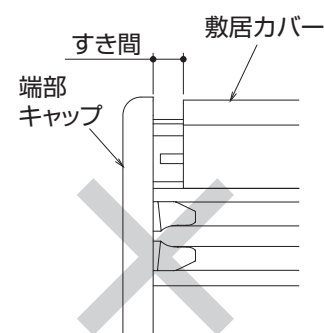
たて枠のしゃくり部にあわせて取付けてください。

4 敷居カバーの取付

端部カバーを当て木を使用して直付敷居に叩き込んでください。



注意
敷居カバーと直付敷居の位置を合わせ、すき間をなくした状態で敷居カバーを取付けてください。位置がずれた状態で叩き込むと、端部キャップが破損するおそれがあります。



11. 引戸の吊込み

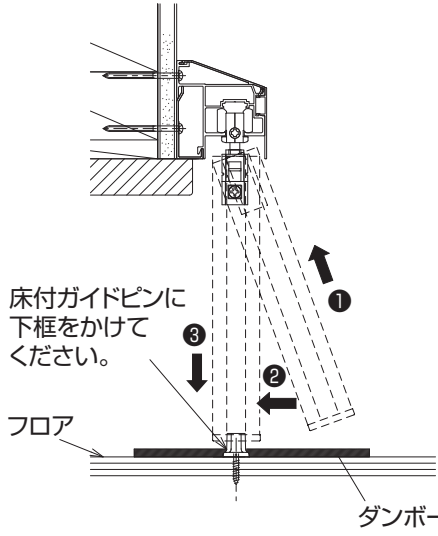
床付ガイド仕様の場合

ラフォレスタ

スクリーンパーティション

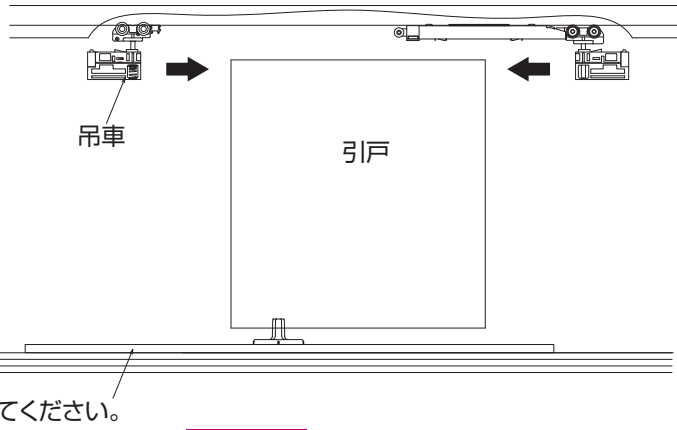
①引戸の吊込み

引手の位置を確認して、ケンドン式で引戸を吊込んでください。



②吊車のはめ込み

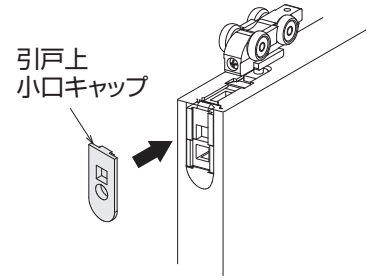
吊車をスライドさせて『カチッ』と音がするまで差込んでください。



ラフォレスタのみ

③引戸上小口キャップの取付

ラフォレスタの場合、引戸吊込み後、引戸上部に引戸上小口キャップを取付けてください。



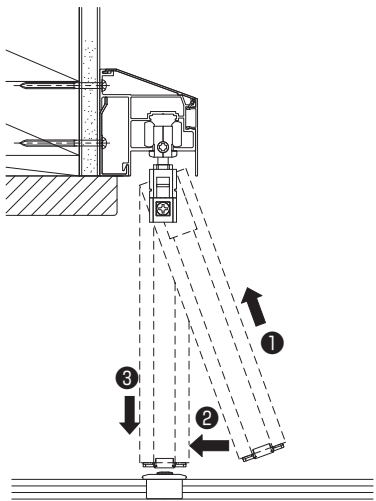
マグネットガイド仕様の場合

ラフォレスタ



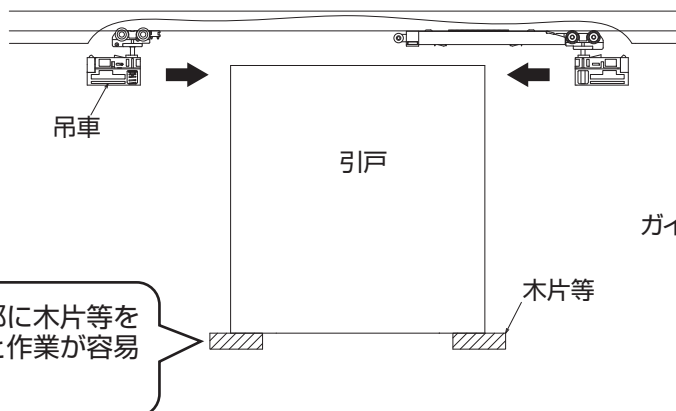
①引戸の吊込み

引手の位置を確認して、ケンドン式で引戸を吊込んでください。



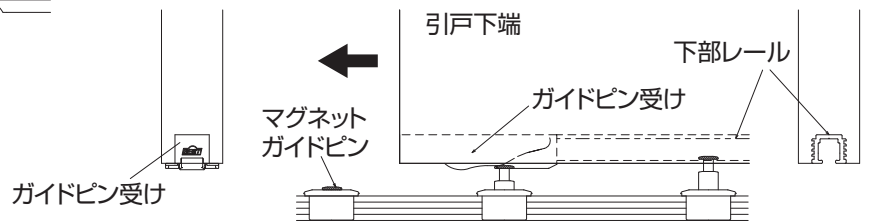
②吊車のはめ込み

吊車をスライドさせて『カチッ』と音がするまで差込んでください。



③マグネットガイドピンの差込み

引戸の開閉を行い、引戸下部の先端からマグネットガイドピンをガイドピン受けに差込んでください。

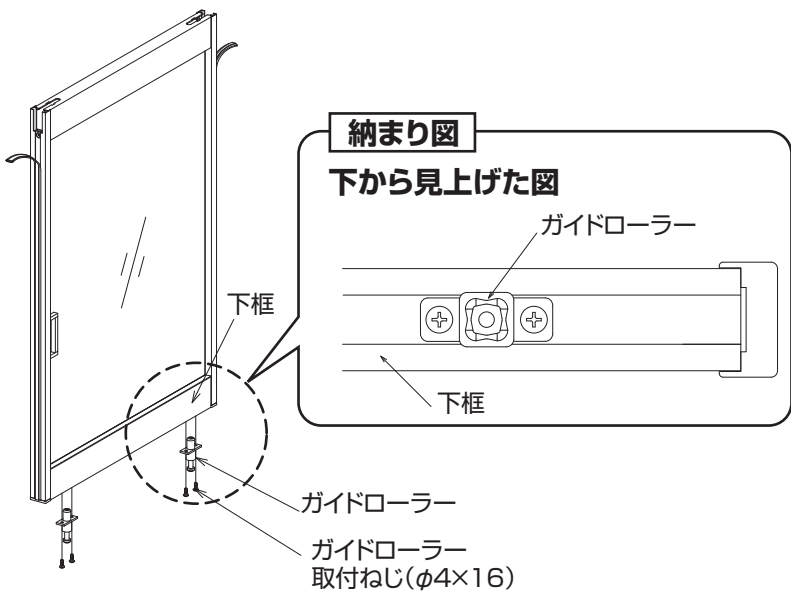


ガイドレール仕様の場合

スクリーンパーティション

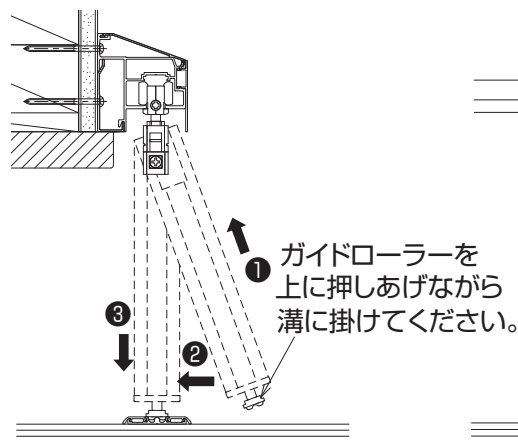
①ガイドローラーの取付

ガイドレールセットに同梱のガイドローラーを下框に取付けてください。



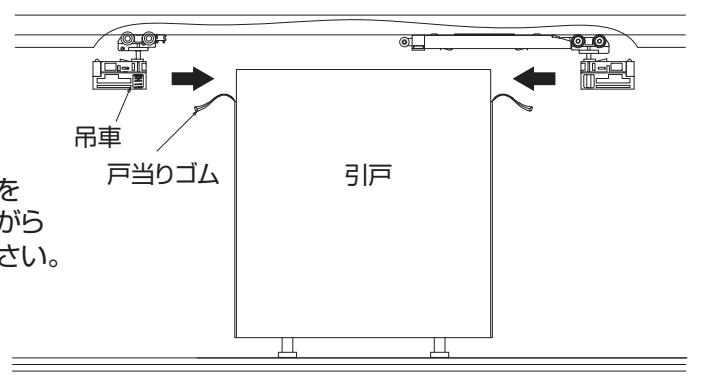
②引戸の吊込み

ガイドローラーを上押ししながら、引戸本体をケンドン式に吊込み、ガイドローラーを直付敷居の溝に掛けてください。



③吊車のはめ込み

引戸本体上部の戸先緩衝材をめくり、吊車を下図のようにスライドさせて『カチッ』と音がするまで上框に差込んでください。



お願い

引戸吊込み後は必ず建付調整を行ってください。

12. 建付の調整

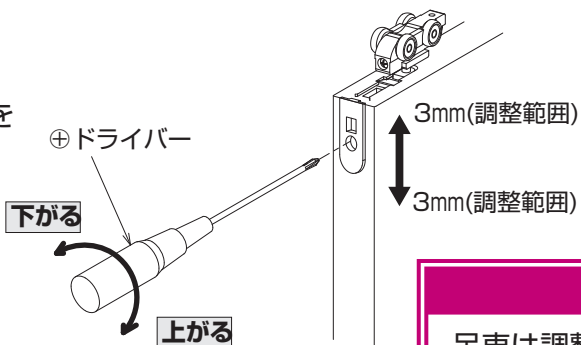


ラフォレスタ

吊車の調整

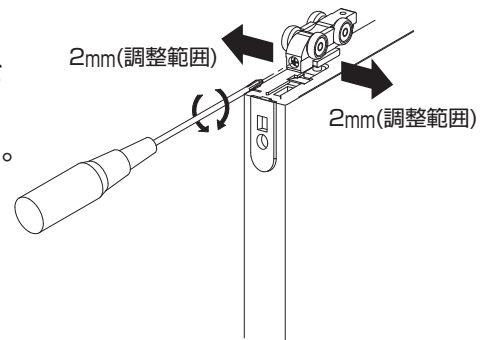
上下方向

吊車についているねじを回すことで上下方向の高さを調整することができます。(±3mm)



見込方向

吊車についているねじを回すことで左右方向に調整することができます。(±2mm)



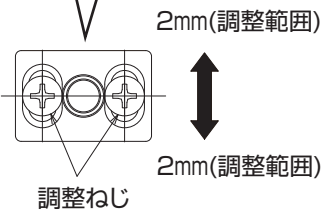
注意

吊車は調整範囲内で調整を行ってください。調整範囲限界で調整ねじが固くなり回しづらくなりますので、それ以上回さないでください。部品が破損し調整できなくなるおそれがあります。

ラフォレスタ

■床付ガイドピンの調整

吊車を見込調整した分だけ床付ガイドピンも調整してください。

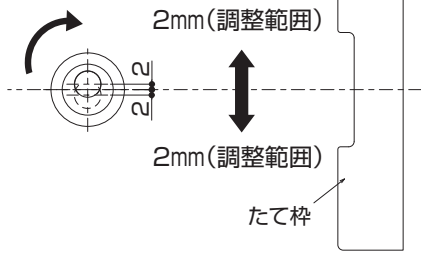
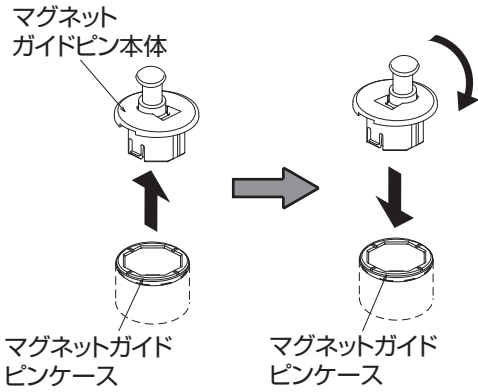


ラフォレスタ(引分け戸)

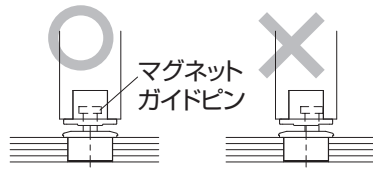
■マグネットガイドピンの調整



床面に固定されたマグネットガイドピンケースからマグネットガイドピン本体を取りはずし、回転して再度付け直すことで、ピン位置を調整することができます。(±2mm)



〈正しいつけ方〉
マグネットガイドピンが引戸の厚みのセンターにくるように調整してはめ込んでください。



〈取りはずし方〉

床にキズを付けないように当て布をして取りはずしてください。



注意

〈マグネットガイドピンのお手入れ方法〉

マグネットガイドピンに汚れやワックス、ホコリが付着すると、動きが悪くなる場合があります。

- ① ⊖ドライバーをミゾに差し込み、マグネットガイドピンを上げてください。
- ② マグネットガイドピンを上げながら、やわらかい布で拭いてください。
- ③ 清掃後、マグネットガイドピンを下げて収納してください。

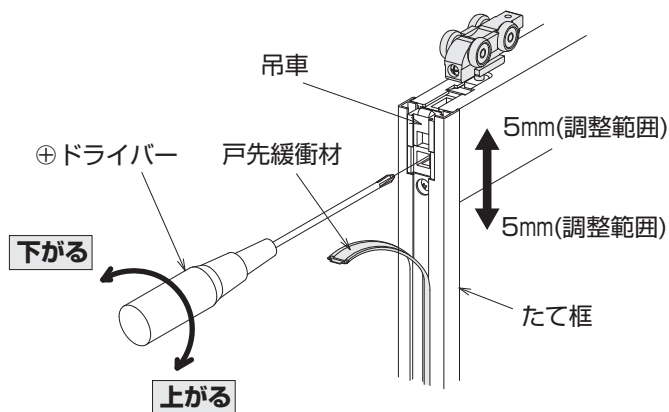


スクリーンパーティション

■吊車の調整

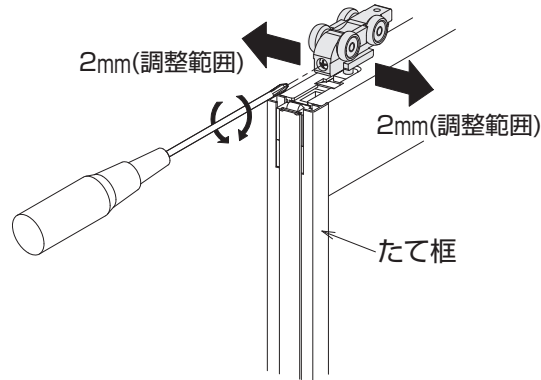
上下方向

吊車についているねじを回すことで上下方向の高さを調整することができます。(±5mm)



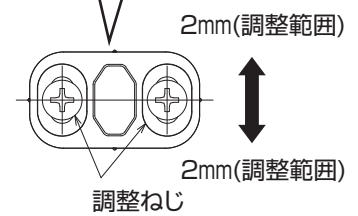
見込方向

吊車についているねじを回すことで左右方向に調整することができます。(±2mm)



■床付ガイドピンの調整

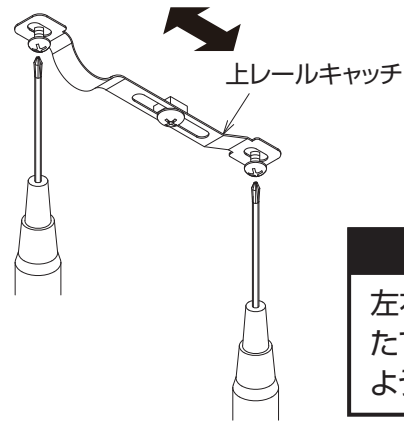
吊車を見込調整した分だけ床付ガイドピンも調整してください。



■上レールキャッチの調整 (ダブルクローズレス仕様の場合)

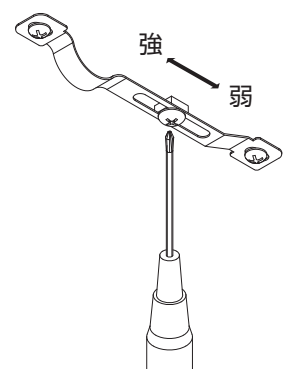
左右調整

両端2箇所のねじをゆるめてください。調整後、再度ねじを締めてください。



開閉力調整

中央のねじをゆるめ、左右に動かすことで引戸の開閉力を調整できます。調整後、再度ねじを締めてください。

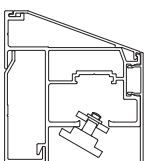


お願い

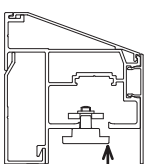
左右調整により引戸を閉じた際、たて枠と引戸にすき間ができないように調整してください。

13. 上レールストッパーの取付

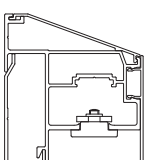
① 上レールストッパーを上レールに仮固定してください。



上レールストッパーのねじを一杯までゆるめて、上レールの溝に斜めに差込んでください。



上レールの片ヒレに寄せた状態で上レールストッパーを押込んでください。



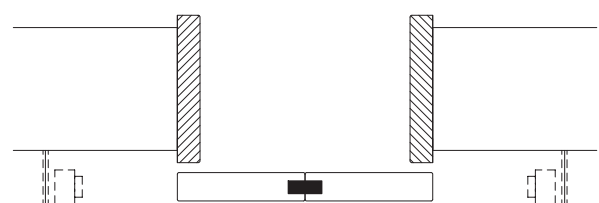
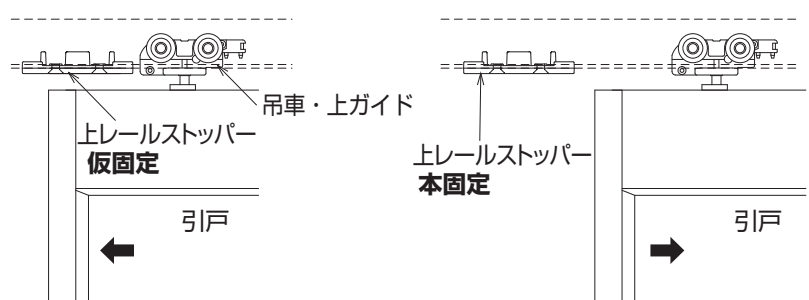
上レールストッパーを上レール溝センターに合せ、ねじを締めてください。

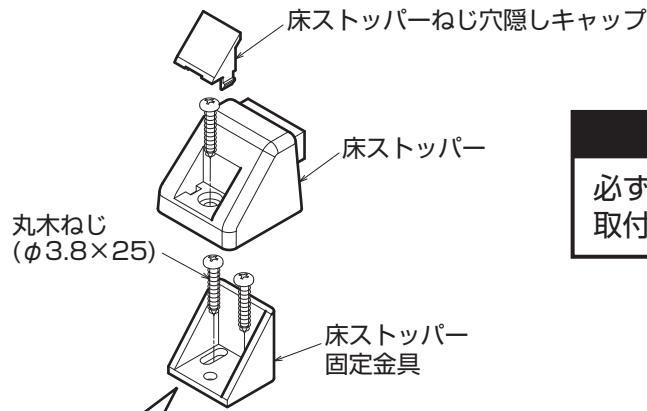
お願い

落下しない程度に軽くねじを締めてください。

② 引戸を全閉状態にし、上レールストッパーを吊車のランナーブロックに当るまで押込んでください。

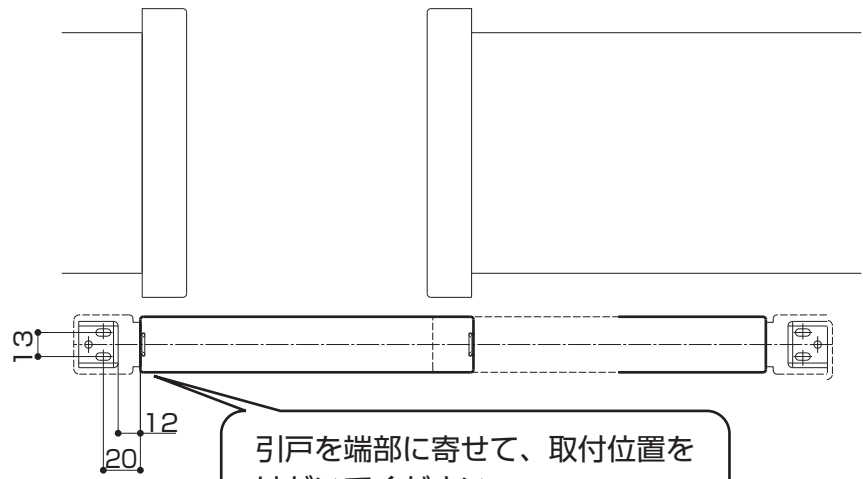
③ 引戸を開いて、上レールストッパー固定ねじを本固定してください。





お願い
必ず引戸本体の建付調整後に取付けてください。

長穴部で微調整ができます。

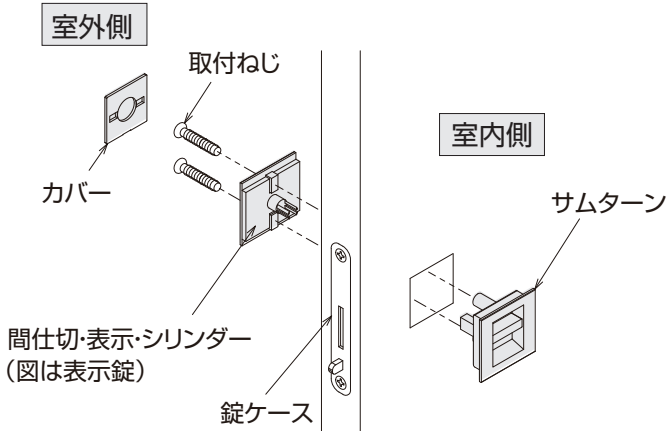


15. 錠の取付、調整 (オプション)



ラフォレスタ

■間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付

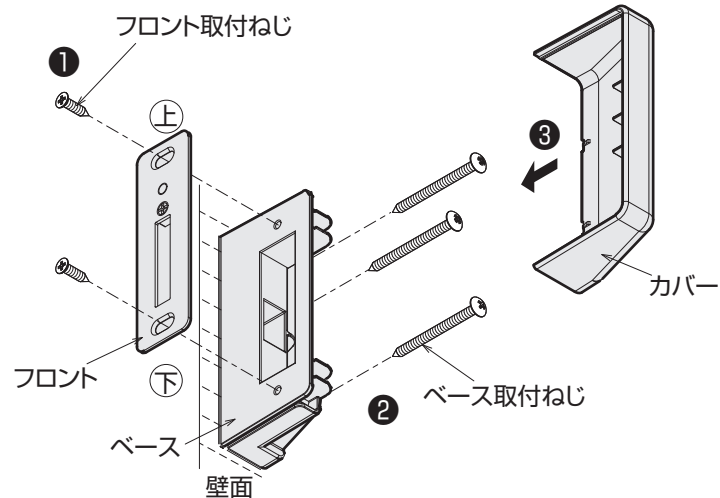


ポイント

取付後、開閉施錠の確認をしてください。動作が重い場合は、建付調整等を行い、スムーズに施解錠ができるようにしてください。

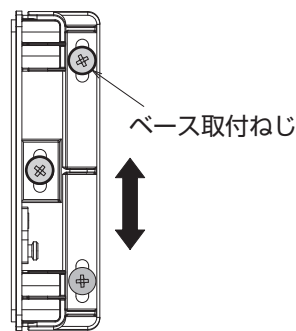
ラフォレスタ

■錠受の取付(錠付引戸と合わせて使用してください。)

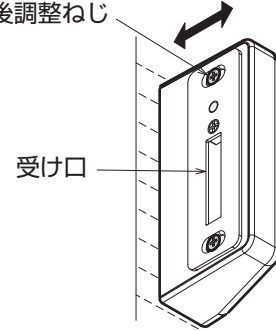


■錠受の調整

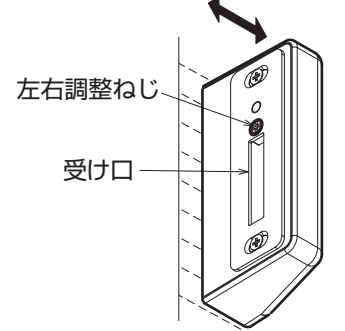
上下調整
カバーをはずし、ベース取付ねじ(3箇所)をゆるめて上下調整してください。



前後調整
前後調整ねじ(2箇所)をゆるめて前後調整してください。



左右調整
左右調整ねじをまわし、施錠時のかかり具合を調整してください。

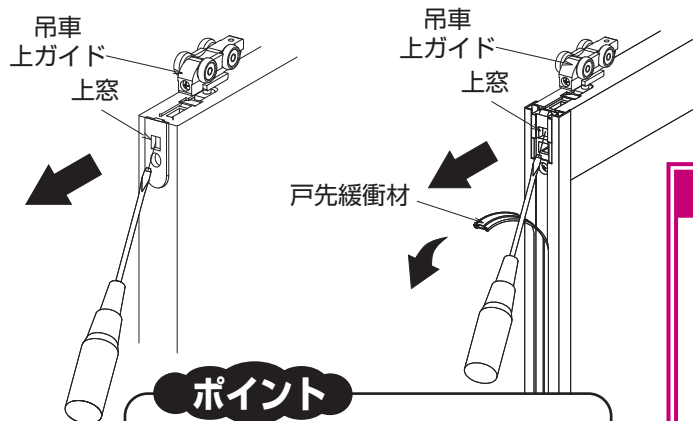


引戸本体の取りはずし

吊込みと逆の手順で取りはずしてください。吊車・上ガイドの上窓にマイナスドライバーを掛けて手前に引くと吊車はずれます。

ラフォレスタ

スクリーンパーティション



ポイント

上吊りタイプ

フロアに傷がつかないようにダンボール等を敷いてください。

注意

引戸本体をはずす時は、本体をしっかり押えてください。引戸本体を押さえないで吊車ははずすと引戸が倒れて危険です。

注意

マグネットガイド仕様の場合

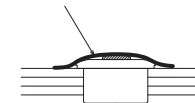


ラフォレスタ

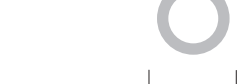
マグネットガイドピンが引戸本体の下部レールに入った状態で、引戸本体の取りはずしは行わないでください。床、引戸、部品が破損につながります。

マグネットガイドピンを一時的に養生テープ等で止めると簡単にはずすことができます。

養生テープ等



マグネットガイドピン



マグネットガイドピン

